

4月25日(日) 令和3年度会員総会を開催しました。

今年は日本海新聞に掲載された記事にもありますように、「とっとり県美応援団」の存在を中部地区から全県下へ広げることを目指し、4チームでの活動をしっかりと推進していく一年にしたいと思います。今現在の会員（個人・団体）は90人です。活動を通して会員を増やす!! 取り組みを皆様と共に、楽しみながら継続していきたいものです。それぞれのチームから案内される研修会等への参加は、全ての会員が対象です。多くの方の参加を希望いたします。



今年度も月1回の研修会を計画しています。

第1回目の研修を 次の通りに開催いたします。

<日時> 5月22日(土) 9:30~12:00

<場所> 塩谷定好写真記念館

琴浦町赤碕 1568 ☎0858-55-0120

<会費> 500円(入館料他)

<内容> 瀟洒な格子が目を引く元廻船問屋(国登録文化財)での研修です。様々な意匠が施された部屋を見学し、日本の芸術写真の草分け的存在として活躍した塩谷定好の数々の写真を展示するギャラリーを見学した後で、感じた事などを語り合う活動を楽しみます。

<その他> ・参加人数 … 20人程度

・現地集合です。

記念館前駐車場に9:20迄にお出下さい

・申し込み…参加を希望される方は、

5月15日までに返信下さい

(申し込みが多い場合は先着順とします)

盛り上げへ意識高める

県美応援団 設計事務所副所長が講演



長谷川取締役副所長の講演を聞く会員ら

2024年度に倉吉市に開館予定の鳥取県立美術館のとっとり県美応援団(佐伯健二団長)の総会が4月25日、同市上灘町の上灘公民館で開かれた。会員約60人が出席。同美術館の設計などを担当する横総合計画

場所」など解説した。

講演後には、出席者が鳥取県立美術館の環境への配慮や他の美術館との違いなどを質問。長谷川氏は「コミュニティセンターとしての役割を持つ場所であることが魅力。地下水を利用して省エネに努めている」と説明した。佐伯団長は「美術館が立派に開館して育っていくには地元住民が支えていくことが大切。県立なので県東中西部でサポートしていく活動にするため会員も拡大させたい」と意気

事務所の長谷川龍友取締役副所長の講演会を聞き、本年度の活動に向けて意識を高めた。総会では、副団長に名越和範さんを任命。10月に大原美術館(岡山県倉敷市)で研修会を実施する。長谷川氏は「鳥取県立美術館に向けて、建築の公共性について」と題してウェビで講演。自社が手掛けた国内外の建築物の構造の特徴などを紹介し、「アトリウム空間は人が移動するだけでなく、多目的に使える

講演後には、出席者が鳥取県立美術館の環境への配慮や他の美術館との違いなどを質問。長谷川氏は「コミュニティセンターとしての役割を持つ場所であることが魅力。地下水を利用して省エネに努めている」と説明した。佐伯団長は「美術館が立派に開館して育っていくには地元住民が支えていくことが大切。県立なので県東中西部でサポートしていく活動にするため会員も拡大させたい」と意気

とっとり県美応援団



役員会を開催します

役員の皆様は、ご出席をお願いします。

なおチームリーダー・サブリーダーの方は総会で話し合われた内容について資料などをご準備ください。

<日時> 5月15日(土)14:00~

<場所> 上灘コミュニティセンター
(旧 上灘公民館)

<内容> ・総会のまとめ

・情報交換(4チームの活動)

(秋の研修会) 他

環境チーム打合せ会の開催

<日時> 5月15日(土)15:30~16:40
(役員会終了後)

<場所> 上灘コミュニティセンター
(旧 上灘公民館)

<内容> 講演会の実施について その他